

ヤオコー

2023年3月期第2四半期決算

【連結業績】

(百万円、%)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		2023年3月期(通期計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	269,426	104.2	279,856	103.9	546,000	101.9
営業利益	17,250	109.0	15,965	92.5	25,500	105.9
経常利益	17,000	108.0	15,730	92.5	24,700	106.1
当期純利益	11,406	106.8	10,759	94.3	16,000	104.0

【単体業績】

(百万円、%)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		2023年3月期(計画)	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
営業収益	235,563	104.7	242,176	102.8	469,500	100.4
営業利益	15,848	111.6	14,211	89.7	22,100	101.6
経常利益	15,705	110.4	13,983	89.0	21,600	100.7
当期純利益	10,782	109.8	9,611	89.1	14,100	101.2

【ヤオコー既存店売上高、客数、客単価、点数PI値・一品単価対前期比】(%)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期	
売上高	100.6		99.7	
客数	102.6		98.9	
客単価	98.0		100.8	
点数PI値・一品単価	98.3	99.7	98.4	102.4

ヤオコー 2023年3月期2四半期の連結業績は、営業収益 2,798 億 5600 万円（前年同期比 3.9%増）、営業利益 159 億 6500 万円（7.5%減）、経常利益 157 億 3000 万円（7.5%減）、当期利益 107 億 5900 万円（5.7%減）の増収減益となった。

売上げが伸びたことで売上総利益は伸長したが、一方で人件費や水光熱費などの販管費が大きく増加している。その他、エイヴィを連結企業としてから5年が経ち、のれんの償却が終了し、前年に対して約5億円プラスとなった。この結果、営業利益は12億8500万円減少し159億6500万円(7.5%減)となった。

■既存店売上高、客数、客単価、買上点数、一品単価

ヤオコー単体既存店の上期の状況は、既存店売上高昨年比 99.7%、客数 98.9%、客単価 100.8%。客単価の内訳は、買上点数は 98.4%、一品単

価 102.4%となった。

物価高の影響で一品単価が上昇し、それを受けて買上点数が下がっている。

また、既存店売上高昨年比推移では、4月(100.3%)と7月(102.5%)の2か月のみ前年を上回った。



株式会社ヤオコー
代表取締役社長
川野 澄 人 氏

■既存店商圏シェア

既存店 1km 商圏シェアは、ほぼ横ばいの状況。1km 圏内の世帯数に対し、ヤオコー来店率は前年同・・・※続きは正規版にお申し込みください。